

平成27年度 校内コンプライアンス推進委員会の振り返り（報告）

標記のことについて報告をします。

1 委員の構成について

【本年度】◎校長（濱崎委員）、教頭2（岸本さ・徳田委員）、事務長（小林幸委員）、安全衛生委員2（米山・木島委員）、セクシャルハラスメント対策担当者代表1（倉元委員）、パワーハラスメント対策担当者代表1（岸本知委員）、事務室代表1（岸本知委員）、生徒会担当1（濱納委員）、養護教諭（山口委員） 計10名

※本年度の変更点（平成26年度と比較して）

- ・コンプライアンス研修会を3回実施していたが、会議の精選や内容の濃い研修会が実施されており、第2回の県教委担当者を招いての研修会を廃止し年間2回の研修会の開催とした。本校では、ほぼ年間を通じて職員会議で「コンプライアンスミニ知識」を行っており、意識の浸透が比較的高い。
- ・男女比（男性5名：女性5名）維持の関係でセクハラ・パワハラ代表は女性にお願いをした。

【委員の構成についての意見・提案・感想、要望等】

- ・男性職員が多い関係で、男女比を維持することが難しい。
- ・男女比の関係で、セクハラ・パワハラ対策委員代表を女性に限定してお願いせざるを得なかった。

2 本年度の取組について

【主な取組の成果】

(1) 委員を担当事業制で実施した

- 研修会・「ヒヤリ・ハット」・ミニ知識設定：米山・濱納・徳田委員
- チェックシート：木島・倉元・岸本さ委員
- ミニ知識解説：委員長を除く各委員が2名交代で担当した
- 年間計画策定、委員会報告、年間報告等：濱崎委員長＋管理職委員

【委員の担当事業制についての意見・提案・感想、要望等】

- ・今年状況で良い。担当を決めて受け持つことで、主体的に取り組むことができた。
- ・「ミニ知識」について、2回目以降担当順番を忘れており、言われて気がついた。
- ・担当制にした上で、委員会で共通の理解を図って実施できたことは良い。
- ・委員会の自主企画研修会は、少なくとも運営にはすべての委員が関わる方がより良かった。
- ・委員として自分がなすべきことが明確になり良かった。

(2) 研修会

第1回：管理職から服務等について（4月）

第2回：推進委員会で企画の職員参加型の研修会（ICTを活用1月）

(3) ミニ知識：5月以降毎月実施。委員2名が担当し資料準備・解説を実施した。職員からテーマの提案はなかった。

5月：不審者対応 6月：いじめ対策 7月：不当要求

8月：「ヒヤリ・ハットの前期のまとめ」 9月：いじめ・自殺防止

10月：メールアドレス流出事故 11月：飲酒運転

12月：体罰、生徒への人権否定発言 1月：交通事故防止 2月：マタニティーハラスメント 3月：「ヒヤリ・ハットの後期のまとめ」

(4) 「ヒヤリ・ハット体験」：現在累積で21件
今後も職員に提示し共通理解を図る。

(5) 年間計画の策定及び実施報告
委員会報告は職員にメールで送信しHPでも公表した。年間報告は、今後とりまとめ職員及びHPに公表予定。

(6) 「本校版コンプライアンス推進宣言」
今後、コンプライアンス推進強化旬間等で鳥取県の宣言と合せて活用し、職員の意識の向上を図る。

(7) 「コンプライアンスチェックシート」
委員会や職員がグループで原案を検討した。また、研修会や職員会議で実際に記入し、改善点を探りほぼ完成し、来年度から本格的な使用に入る。

(8) 先進校視察：本年度は実施しなかった。

【実施した各事業についての意見・提案・感想、要望等】

- ・「ミニ知識」のテーマ設定が難しかった。職員からの提案をもっとして欲しい。
- ・「ヒヤリ・ハット」も比較的少なかったが、日ごろから書き留める形式で集約し活用できればと感じた。
- ・自主企画研修では、タブレット型端末の活用は良いが、アプリとして使用した「ミッカー」が文字が細かく見難いなど改良が必要。
- ・委員だけでなく職員も非常に熱心に取り組んだ。今後時間の経過とともに、危機感も薄れる。その時にも我がこととして受け止めることができるような方策を考えることも必要。
- ・「本校版コンプライアンス推進宣言」は早速活用し、「本校版チェックシート」も目途が立った。委員の皆さんの努力に感謝です。
- ・本校の取組は着実に行っており、先進校視察は必要ないと感じる。

3 来年度の取組の全般について（本年度感じた課題等）

【御意見・提案・感想、要望等】

- ・全般に良かった。
- ・来年度も全職員対象の研修会は2回であるが、「ミニ知識」のテーマを職員からより多くもらうなど充実した取組になるようにしたい。
- ・職員の意識が委員のみが行うコンプライアンスにならないように、日ごろからこまめに呼びかけなどを行いたい。
- ・自分の担当の事をもう少し早くから取り掛ればと反省している。

4 その他

- ・委員の皆さんの活動に感謝します。
- ・担当者が受け持つことで主体的な取組ができると思う。